

# hap·py

## → go

## → luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ **34** 号



2016年10月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



# 芸術ヲ読ム



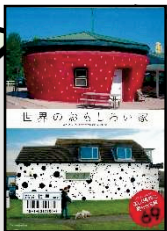


『春や春』  
もり や あきこ  
森谷 明子 作 光文社 2015年

俳句好きの女子高生の茜は、国語の公開授業で俳句の魅力<sup>みりよく</sup>を語るも、教師・富士に俳句は不完全な文学だと論破される。しかし、それは校長からの「俳句甲子園<sup>こうしえん</sup>」を目指せという要求を断るための富士の策略だった。それを知った茜は俳句により熱が入り、個性豊かな仲間を集めて俳句甲子園への出場を決意する。

17文字で音・景色を読者の心に刻み込む、少女たちの俳句に感動する物語。

『世界のおもしろい家』  
エクスナレッジ 2013年



私たちが生活していくために必要なモノの1つ、家。しかしこの本に出てくるのは、ただの家ではない。環境に合わせたために世界中でもそこにしかない個性的な家、デザインを追求しすぎて住みづらい奇抜な家、人々にメッセージを伝えるために建てられた住むことのできない芸術品の家。現実なのか疑いたくなるおもしろい姿の家たちを写真で紹介する、眺めて楽しい1冊をあなたへ。



『ちょこっと15秒イラスト&30秒スケッチ』

やまだ まさお  
山田 雅夫 作 新星出版社 2011年

あなたの筆箱の中で寝ているカラーペン達をもっと動かしてみませんか？この本には、顔絵文字・動物・食べ物など、多彩なイラストを簡単にさっと可愛く描ける方法が紹介されています。必要なものは、今あなたが持っているカラーペンだけ！ペン1本からでもOK！

メモでもよし。スケッチでもよし。どのように楽しむかはあなた次第！絵を描くことが好きな人から苦手な人まで、おすすめの1冊。



『モナリザの秘密』

うちだ ひろゆき  
内田 広由紀 作 視覚デザイン研究所 2014年

ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』の顔はなぜ神秘的なのか？その秘密は、顔は右を向き瞳は左を向く「見返り美人」の視線にあった。フェルメールの『真珠の耳飾の少女』も同様に、目線ひとつでその表情にドキッとさせられる。

印象の違う2つの異なる絵を比べながら、クイズで構図や色彩などを解説する。この本を読んでポイントを押さえたら、さあ美術館に足を運んでみよう！



『アーモンド入りチョコレートのワルツ』

もり えと  
森 絵都 作 角川文庫 2005年

3つのピアノ曲をもとにした3つの物語。少年たちの成長による別れと友情、潜り込んだ旧校舎で偶然出会った少年と少女との淡い恋、突然現れたフランス人のおじさんとめぐる時間。特別な場所・時間を描き軽やかなピアノの調べに寄り添うような優しいお話を、それぞれの音楽を聴きながら読んでみては。どの作品も穏やかな気持ちになれる素敵な1冊です。



『表現する仕事がしたい!』  
岩波書店編集部 編  
岩波ジュニア新書 2009年

音楽、CM、写真など様々な表現分野で活躍する13人が自分の言葉で人生を語る。表現する仕事とは、ある人は人が生きていくのに具体的に必要な仕事ではないと言う。またある人は、自分がしたいことを買わせるのではなく、人に求められる自分を提供することだと考える。それでも、なぜ彼らは表現する仕事を選んだのか。

どんな人生を送っていても、悩みは生まれてくるもの。将来への不安を覚えたとき、勇気を出したいときに手に取りたくなる1冊。



『鳥を見る』  
のぐち りか  
野口 里佳 作

P3 art and environment  
2001年



さいたまトリエンナーレ 2016  
キービジュアルを担当する  
写真家・野口里佳の  
作品集もいかが？

## 第3回 ビブリオバトルはぴの陣 が開催されました



『女王はかえらない』

降田 天 作 宝島社 2015年



今年で3回目となる、本の魅力<sup>みりょく</sup>を伝える5分間のプレゼン合戦が、平成28年7月29日（金）、中央図書館で行われました。今回のバトルーは中・高生5人、バトルーテーマは「芸術」でした。

バトルー、観戦者の投票により、チャンプ本は、『女王はかえらない』が選ばれました。田舎の小学校に通う2人の少女の権力闘争<sup>とうそう</sup>、クラス内のスクール・カーストを扱ったミステリー小説。バトルーによると、重いテーマの物語であるにもかかわらず、情景描写<sup>じょうけいびやうしや</sup>がとても芸術的であり、そして、タイトル中の”かえらない”、この言葉が深い意味を持っているとのことでした。



### ★そのほかのバトルーの紹介本★



『楽園のカンヴァス』 原田 マハ 作 新潮社 2012年

『新釈走れメロス』 森見 登美彦 作 角川文庫 2015年

『シューマンの指』 奥泉 光 作 講談社 2010年

『チア男子』 朝井 リョウ 作 集英社 2010年



\*ビブリオバトルの様子は、図書館ホームページの「10代のページ」に掲載しています。

今号は、「芸術」をテーマに本をご紹介します。眺めるもよし、聴くもよし、自ら挑戦するもよし、芸術の秋を楽しんでみてください。



次回  
予告

はぴ35号（1月発行）のテーマは「ファンタジー」

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの印刷経費は3円（概算）です。